継手・仕口部の接合金物（ホームコネクター）標準仕様書

（1）一般事項

1．接合部材は、核管差込式中窒側筋様状部材（ホームコネクター）と専用接着剤（AHC-E）で構成する。
　（名称はホームコネクター工法　以下コネクターと称す）
2．使用材料、製具、及び付属品はメーカー仕様による。
3．施工者は、コネクターの位置決め、接合部材への孔開け、施工手順等については、必ずメーカーの技術指導を受け、施工現場においては、必ず１名以上メーカーの施工研修を受けた作業員が常駐し施工管理を行う事を施工条件とする。

（2）コネクターの種類

1．T型（主に継手用）及びS型（仕口用）、L型（仕口用）の３種類とする。形状は下図参照。
2．両タイプ共、ネジ込み式核管より接着剤を注入し、接合金物周囲に充填する。

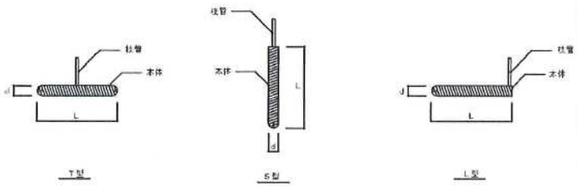


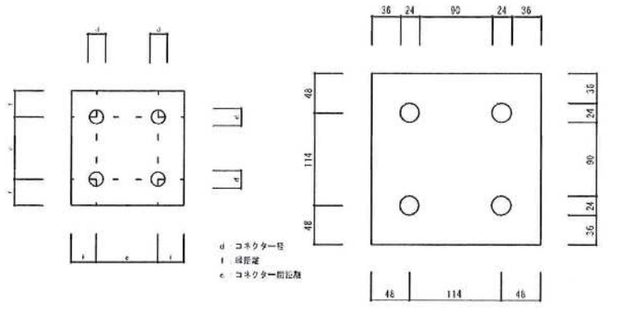
表1．製品一覧表

製品リスト				木材加工リスト			接合耐力（KN）			
							許容引張耐力		許容剪断耐力	
名称（仕様）	長さ（全長）L（mm）	定着長 l/2L（mm）	直径 d（mm）	挿入孔径（mm）	T型コネクター孔深さ	S型コネクター孔深さ	長期	短期	長期	短期
TL（SL）-70φ10	70	35	10	φ12±1	40～43	35～37	1.65	3.30	0.64	1.62
TL（SL）-100φ10	100	50	10	φ12±1	55～58	50～52	2.35	4.70	1.05	1.91
TL（SL）-100φ18	100	50	18	φ21±1	65～60	50～55	4.20	8.40	2.15	3.91
TL（SL）-150φ18	150	75	18	φ21±1	80～85	75～80	6.35	12.70	3.16	5.78
TL（SL）-200φ18	200	100	18	φ21±1	105～110	100～105	8.40	16.80	3.56	6.48
TL（SL）-250φ18	250	125	18	φ21±1	130～135	125～130	10.60	21.20	4.03	7.33
TL（SL）-300φ18	300	150	18	φ21±1	155～160	150～155	12.70	24.50	4.51	8.25
TL（SL）-300φ24	300	150	24	φ27±1	155～160	155～160	16.95	33.90	6.73	12.24
TL（SL）-400φ24	400	200	24	φ27±1	205～210	200～205	22.60	45.20	8.07	14.67
TL（SL）-500φ24	500	250	24	φ27±1	255～260	250～255	28.20	56.40	8.07	14.67

※L型コネクターについては、使用法により定着長が変わるため、部材加工等については、設計図書の指示に従うこと。

（3）コネクターの位置

位置決めをする際は、以下のことに注意すること。
1．曲げの生じる接合部には、必ず材の引っ張り側にコネクターを配置すること。
2．縁距離は２．０ｄ以上とする。
3．縁距離が不足すると木材の内部破壊を早めるので注意すること。
4．コネクター間距離は２．５ｄ以上とする。
5．コネクター交差部は、コネクター同士が重ならない様、位置決めの際は注意すること。



d　コネクター径
l　縁距離
e　コネクター間距離

２１０角　柱　ＴＬ－４００φ２４使用例

（4）施工時の注意事項

（接合金物のセット時）

1．コネクターに付属する核管は専用接着剤を注入するためのものであり、ネジによる着脱式になっている。
　注入後は取り外すため、セット時は取り外しに支障がない程度のネジ込みとしておくこと。
2．接合部材への孔開けは、表１（メーカー確認のこと）とし、孔内に削りかす等を残さないようにすること。
　又、孔深さは、T型コネクターの場合は核管中心からの左右は同寸法となる様に、S型コネクターの場合は、金物長さの中央が接合部材の接点になる様にすること。
3．T型コネクターは、一方の木口に核管装着用の溝（幅×深さ　各１２mm）をルーター等で加工しておくこと。
4．セット完了後は、接着剤注入分のスペースがあるため、少しガタつく程度になっているはずなので確認をする。

（現方時）

1．コネクターは、接着剤注入、硬化後でないと接合耐力はないので、注入を後で行う場合は、施方時に継手又は仕口を固定するための仮設材（添え板又ビス留め　等）を考慮すること。
2．柱脚等、建方時にコネクターをセットする時は、核管を装着用の溝にきちんと入れておくこと。ずれて部材の下敷きになったりすると核管がつぶれて接着剤が注入出来なくなるので注意すること。

（接着剤注入時）

1．接着剤は専用の注入ガンと注入ノズルを用いて核管より注入する。１本当たりの注入は中断することなく行うこと。核管装着用の溝から接着剤の返流を確認すれば注入完了となる。
　尚、専用注入ガン以外の注入器具を使用する場合は、メーカーに確認のこと。
2．接着剤の充填は、以下の方法で確認すること。
　・T型の場合、核管装着用溝と核管の間の隙間に接着剤の返流が生じることを目視確認すること。
　・S型の場合、接着剤の返流により、接合金具が完全に接着剤に埋没することを目視確認すること。
　・L型の場合、核管用挿入孔と核管の間に接着剤の返流が生じる事を目し確認すること。
3．注入完了後はすみやかに込栓を打ち込む。接着剤は硬化過程で膨張するので、込栓はしっかり打ち込んでおくこと。
4．接着剤が硬化し所定の接合部強度が発現するまでは養生期間が必要となる。その間は接合部に大きな応力がかかる工事は行わないこと。養生期間は以下の目安を参考にすること。

養生期間の目安

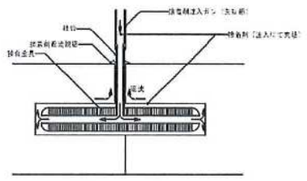
AHC-E（エポキシ）の場合

最低気温	１５度以上	１５度未満～１０度	１０度未満～５度
養生期間	12時間	１日	２日

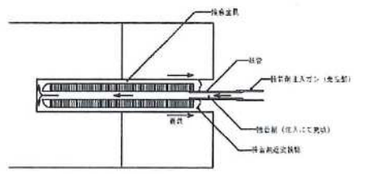
＊フレームを地組みして、クレーン等による吊り上げを行う場合や、接合部位に大きな応力が生じる可能性がある場合は、養生期間は上記の２倍とすること。
＊１０度未満の気温で施工を行う場合は、接着剤のカートリッジを温風等で30～40度に暖めた上で接着剤の注入を行うこと。
＊５度以下での使用は禁止。５度以下となる場合はジェットヒーターなどにより接合部近傍の温度が５度以上となるよう対策を行うこと。

（使用木材）

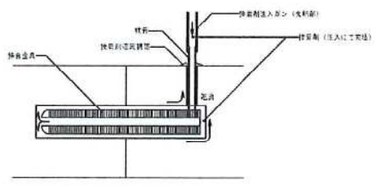
1．木材は乾燥材（含水率20%以下）のものを使用すること



接着剤注入イメージ図（T型）



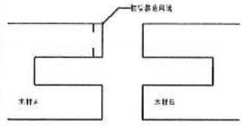
接着剤注入イメージ図（S型）



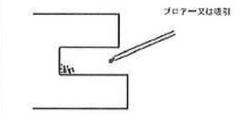
接着剤注入イメージ図（L型）

施工手順（T型）

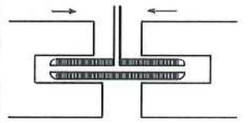
1）孔開け
木材A、Bの接合面に孔を開ける。
一方の木材に核管装着用の溝を掘る。



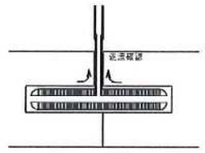
2）孔内清掃



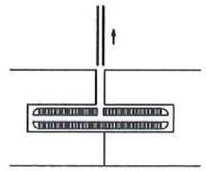
3）コネクターセット



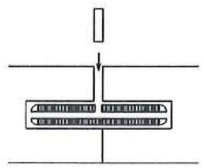
4）接着剤注入



5）接着剤返流確認後、核管を外す

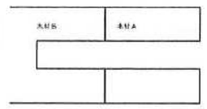


6）込栓を打ち込み

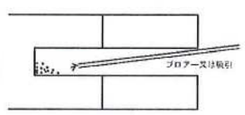


施工手順（S型）

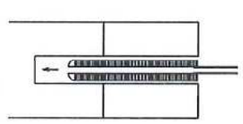
1）孔開け
木材Aを貫通し、木材Bまで孔を開ける。



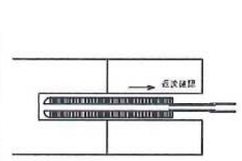
2）孔内清掃



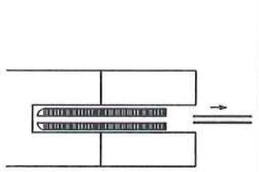
3）コネクターセット



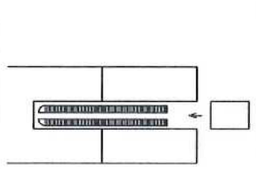
4）接着剤注入



5）接着剤返流確認後、核管を外す

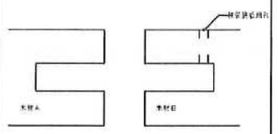


6）込栓を打ち込み

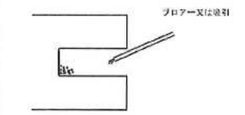


施工手順（L型）

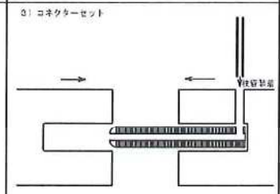
1）孔開け
木材A、Bの接合面に孔を開ける。
一方の木材に核管装着用の穴を開ける。



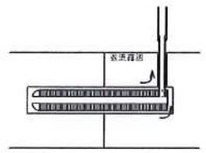
2）孔内清掃



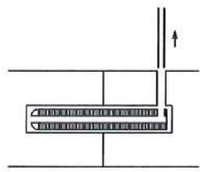
3）コネクターセット



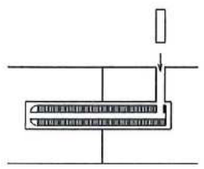
4）接着剤注入



5）接着剤返流確認後、核管を外す



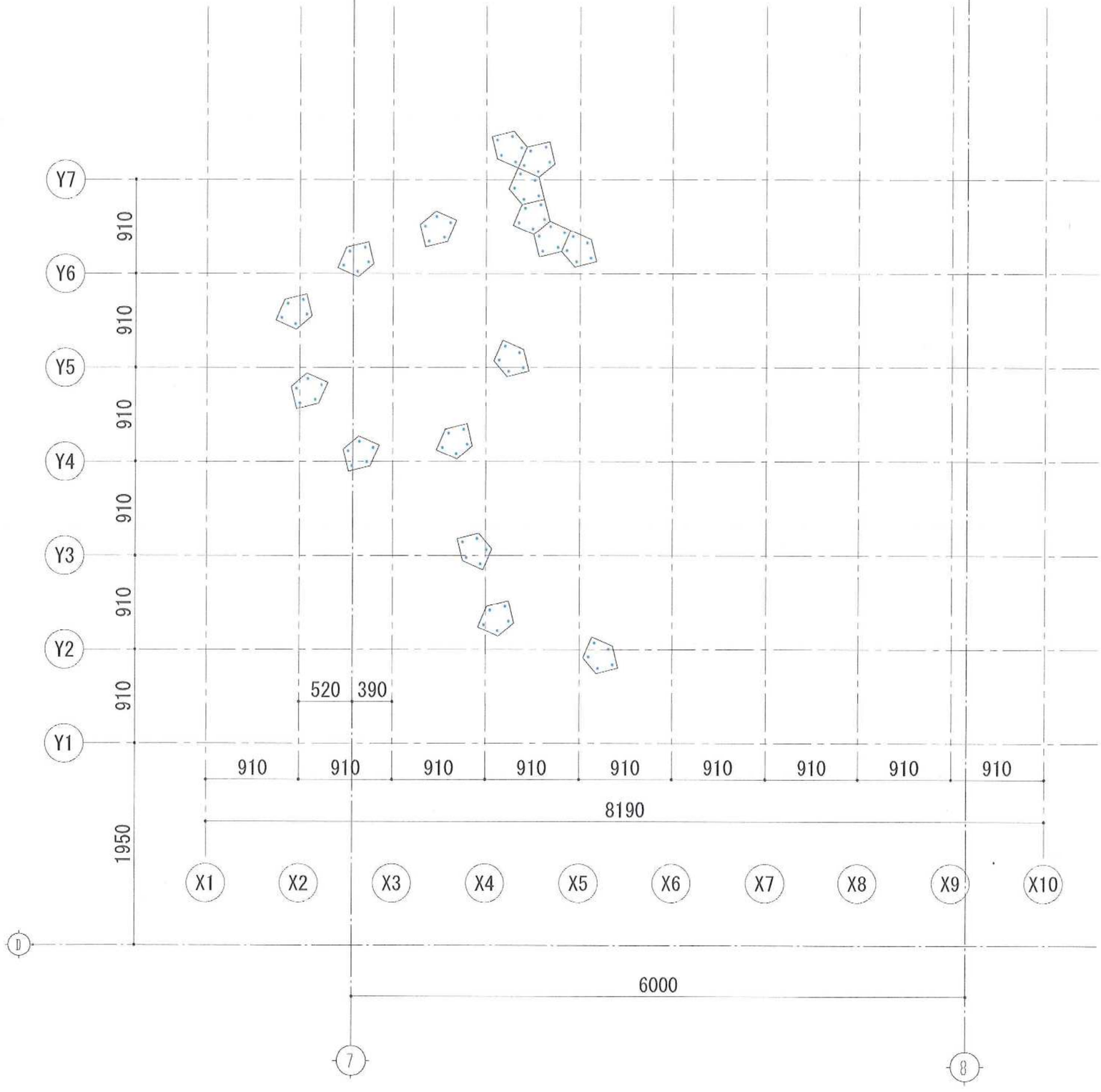
6）込栓を打ち込み



令和8年度 美浜町こどものあそび場整備事業
美浜町保健福祉センター遊具等整備工事

Title	ホームコネクター仕様書	No	S-01
Scale	N.S		2026年3月31日

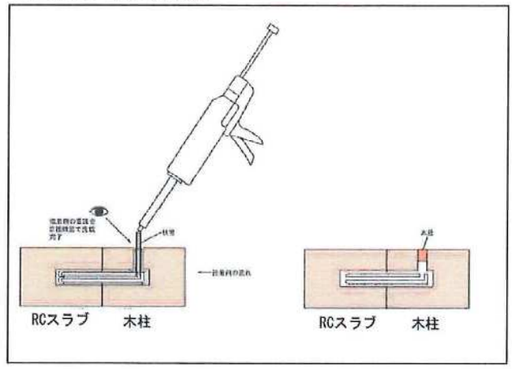
福井大学 西本研究室
㈱紫田尊友建築設計事務所
管理建築士 紫田尊友 一級建築士第355480号



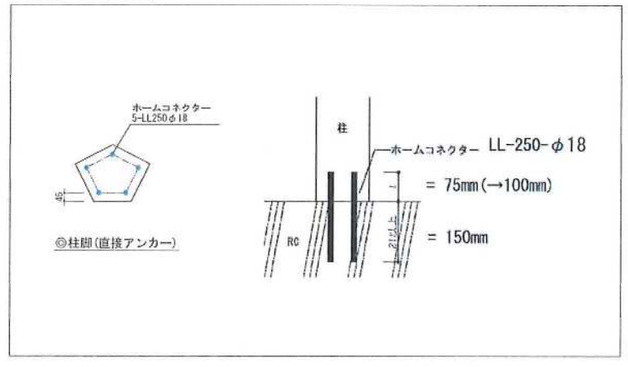
共通事項（柱脚伏図）

1. ⬠ は、柱を示す。
2. ・ は、ホームコネクター（柱脚）を示す。
3. 直接衝突の危険があるボルト・ナット類の形状はJPFA基準に準ずること。

L型コネクターによる柱脚接合



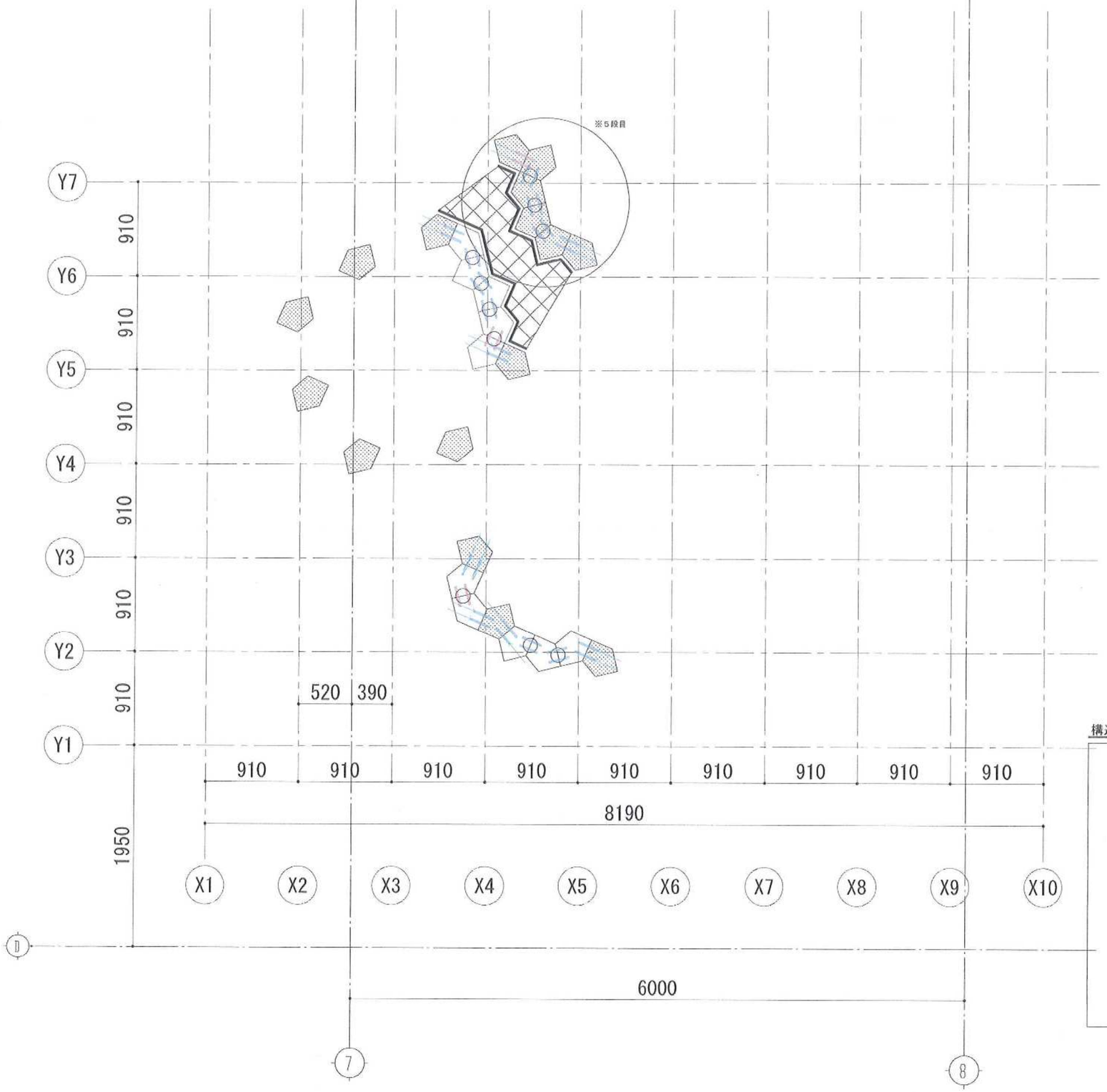
構造接合部詳細



令和8年度美浜町こどものあそび場整備事業
美浜町保健福祉センター遊具等整備工事

Title	1段目 構造図	No S-02
Scale	1：40	2026年3月31日

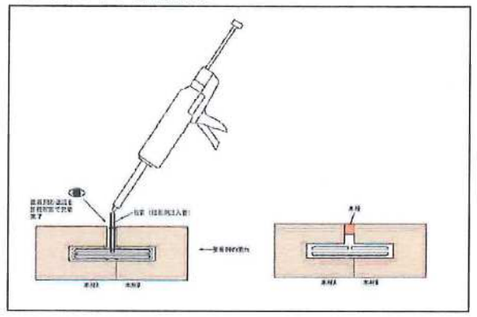
福井大学 西本研究室
㈱繁田尊友建築設計事務所
管理建築士 繁田尊友 一級建築士第755469号



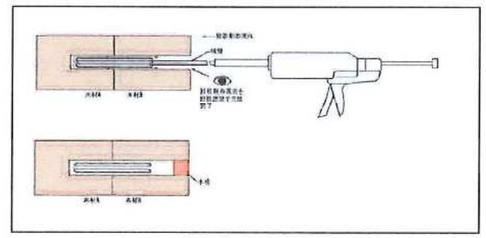
共通事項（8段目 梁伏図）

1. ⬠ は、柱を示す。
2. ― は、ホームコネクター（一般部）を示す。
3. ― は、ホームコネクター（交差部）を示す。
4. ← は、S型コネクターによる現位置接合部を示す。
5. ○ は、T型コネクターによる先行結合部を示す。
6. 直接衝突の危険があるボルト・ナット類の形状はJPFA基準に準ずること。

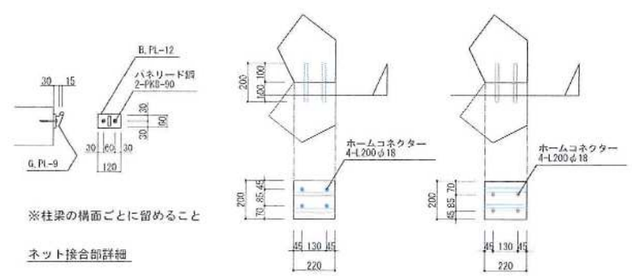
T型コネクターによる先行結合部



S型コネクターによる現位置結合部



構造接合部詳細

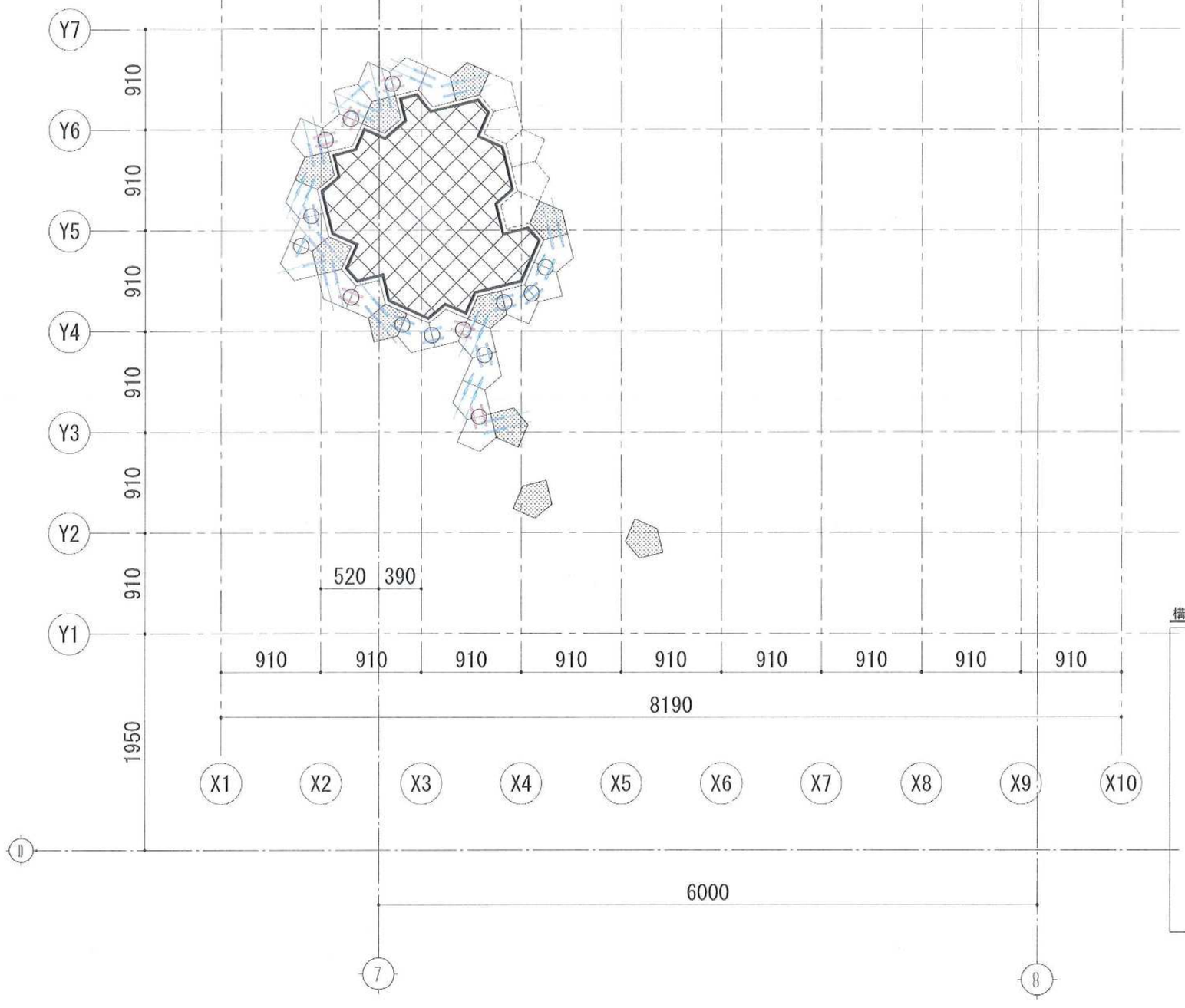


※柱梁の構面ごとに留めること

ネット接合部詳細

水平接合（一般部）　水平接合（交差部）

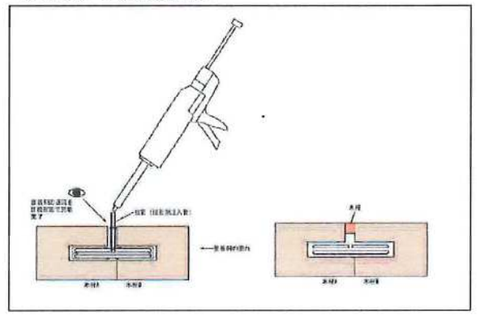
令和8年度美浜町こどものあそび場整備事業 美浜町保健福祉センター遊具等整備工事		
Title	8段目 構造図	No S-03
Scale	1：40	2026年3月31日
福井大学 西本研究室 ㈱栗田尊友建築設計事務所 管理建築士 栗田尊友 一級建築士第325480号		



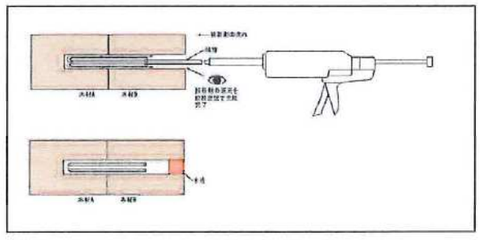
共通事項（9段目 梁伏図）

1. は、柱を示す。
2. は、ホームコネクター（一般部）を示す。
3. は、ホームコネクター（交差部）を示す。
4. は、S型コネクターによる現位置接合部を示す。
5. は、T型コネクターによる先行結合部を示す。
6. は、φ8@50（ポリエステルネット無結節編み）[㈱岡部]
7. 直接衝突の危険があるボルト・ナット類の形状はJPFA基準に準ずること。

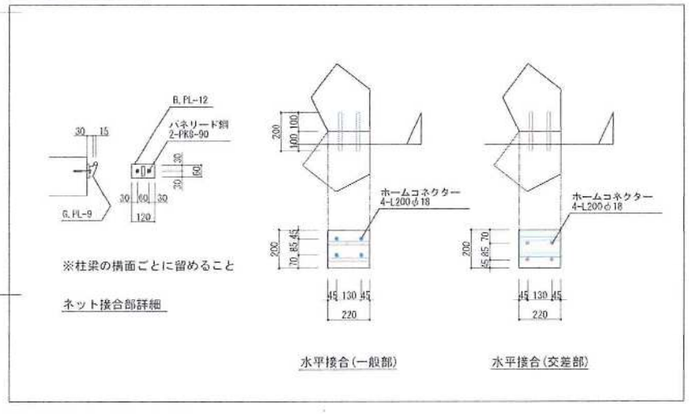
T型コネクターによる先行結合部



S型コネクターによる現位置結合部



構造接合部詳細



令和8年度 美浜町こどものあそび場整備事業 美浜町保健福祉センター遊具等整備工事	
Title 9段目 構造図	No S-04
Scale 1：40	2026年3月31日
福井大学 西本研究室 ㈱繁田尊友建築設計事務所 管理建築士 繁田尊友 一級建築士第355488号	